

平成28年度 学校評価（年度末評価）

栄徳高等学校

<p>校訓 「誠実で信頼される人に」</p>	<p>めざす学校像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢を実現させる学校 ・豊かな人間性を培う学校 ・健康な心身を育む文武両道の進学校 		
<p>教育目標 常に明確な目標を持ち、真剣に事に当たる習慣、豊かな人間性、強い気力と体力、幅広い知性を身につける。</p>			
評価項目	重点目標	具体的取組	評価及び次年度への課題
<p>教員研修及び国際交流(総務部)</p>	<p>1 教員研修の計画的実施 2 国際言語コース設置に向けての土台作り 3 栄徳アンケートの継続的实施と魅力ある学校作りのプランニング 4 授業改革を推進するための土台作りと研究開発</p>	<p>1 年間を通じての教員研修のあり方の策定及び実施 2 NZ 姉妹校との連携作り 3 NZ 語学研修の発展的実施及び国際言語コースの設置に伴うアイディア創成と実施 4 栄徳アンケートの継続的実施と魅力的な学校作りへの提言 5 生徒の学力及び人間力向上に寄与する授業改革の推進及び校外研究会への参加及び校内研究会の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3月教員の1日研修として実施。教員各個人の授業まで踏み込んだ授業研究を構築したい。 ・NZ 姉妹校から1月に生徒3名、引率2名の計5名が来訪。交流会への生徒、職員の積極的参加が求められる。 ・国際言語コースは29名で構成が確定。来年度9月の実施に向けて計画実施中。また、その前段階としての語学研修として、フィリピンを選択し、4月から募集開始の予定。また、韓国の泳薫高校と姉妹校提携をし、1月に来訪。来年度は本校との生徒交流での訪韓をする予定。 ・栄徳アンケートは3月に結果を配布、マークシートリーダーを利用し、結果分析はスムーズに行われた。発表をもう少し早くできることが望ましい。
	<p>1 HP の充実 2 国際教育のあり方の研究と実施</p>	<p>1 情報センターと連携して、中学生や保護者が見て楽しめる内容を考える。 2 来年度のコース新設を目標とした土台作り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の結果だけでなく、写真を管理者に送ってもらうように依頼。 ・国際言語コース設置に向けて、特に第1学年を中心に指導、結果30名近くの生徒が希望することになったことは、初年度としては大変うれしいことである。次年度の語学研修から始まる様々な活動を通じて確立していきたい。

	<p>1 教員研修のカリキュラム作成</p> <p>2 授業研究とその推進</p>	<p>1 目指す学校像の実現に向けて、教員に要求される資質を向上するため、教員研修を計画的に実施する。</p> <p>2 校外研究と校内研究を相互に結びつけ、より質の高い授業のあり方を研究する。各分掌からの情報を取り入れ、より実践的な授業のあり方を研究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は課員の研究に重点を置いた。来年度はさらに発展的に研修会を実施し、教員の資質向上に寄与したい。 ・昨今の様々な変化に対応するため、次年度は研究授業の後の研究協議会を充実したものにすべく、準備をする予定である。
	<p>1 計画的な研修の実施</p>	<p>1 教員としてのより高い資質向上と育成を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様授業研究を中心に1年研修。2年研修を行った。来年度は3年研修を実施し、より教員としての資質を高めたい。
<p>学習指導 (教務部)</p>	<p>1 基礎学力の向上</p> <p>2 授業内容の充実および授業スキルの向上</p> <p>3 カリキュラムの再編</p> <p>4 IT化に向けての対応</p>	<p>1 スタディサポート、基礎力診断テストの分析・検討</p> <p>2 義務教育内容の学び直しの機会の設定(スタディーサプリの活用)など</p> <p>3 教科会の充実</p> <p>4 研究授業、公開授業の実施</p> <p>5 シラバスの再検討</p> <p>6 大学入試新テスト(H32年度実施)に向けたカリキュラムの再構築</p> <p>7 校務システムに合わせた評定算出方法の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科会に結果を配布し分析。 ・Super文理クラスを中心にタブレットを使用した、授業、課題などに取り組みつつある。 ・昨年同様実施したものの時間割変更が困難な教科に関しては授業見学ができないこともあった。 ・評価方法を検討すると同時に再検討を行いたい。 ・来年度には原案を完成させる予定。 ・校務システムに合わせた内容で教務内規を改定、今後も校務システムを使用しながら修正していく必要がある。その他、教務内規の一部見直し、国際言語コースの補充授業などを決定した。
	<p>1 再試・追試・追認考査の受験者の減少</p>	<p>1 日頃の学習の成果が定期考査に反映されているかの確認</p> <p>2 考査前後の教科指導の時間の確保</p> <p>3 考査を受験する姿勢の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平日の部活動終了時間の制限、定期考査中の部活動活動許可等、さらなる生徒の学習時間の確保が必要。
	<p>1 図書室の利便性の向上</p> <p>2 図書室利用の促進</p>	<p>1 蔵書の整理とともに書架の配置を改善し、利便性の向上を図る。</p> <p>2 学習室の機能を加える事で授業後の利用の促進を図る。</p> <p>3 図書館便りの定期発行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書の採用により、図書館の利便性がかなり向上した。 ・授業後の自習等、学習室の機能としても有効活用できた。 ・毎月図書館便りを発行し、図書館利用の啓発活動ができた。

	3 図書委員会活動の充実		
生活指導及び特別活動(生活指導部)	<p>1 挨拶・服装・頭髪を生活指導の基本とし、規律ある学校生活の確立</p> <p>2 交通事故のない通学交通マナー指導</p> <p>3 いじめのない安心、安全な学校生活の提供</p> <p>4 地域、保護者から信頼される学校を目指す</p> <p>5 学校行事をとおして、豊かな生徒の育成</p> <p>6 強く、規律ある部活動により学校全体の士気を高め、地域に発信</p> <p>7 生徒・保護者に対しての指導・対応の研修会の実施および教員全体の統一意識の確認</p>	<p>1 頭髪指導（8回）</p> <p>2 挨拶、みだしなみ重点指導週間（5回）</p> <p>3 街頭指導（毎日）</p> <p>4 校内巡回（毎日）</p> <p>5 指導カードの発行</p> <p>6 性犯罪防止講話をとおして危険意識を高める</p> <p>7 薬物防止講話をとおして薬物の危険性を認識させる</p> <p>8 マナー講座をとおして栄徳生としての自覚と意識を高める</p> <p>9 交通安全講話をとおして、交通事故に遭わないよう意識を高める</p> <p>10 車体検査をとおして安全運転と車両整備の意識を高める</p> <p>11 自転車通学者にたいして交通指導を通学時間帯に実施する</p> <p>12 サイバー犯罪防止講話をとおしてスマートフォンの危険性を認識させ、使用法・使用時間の意識を高める</p> <p>13 必要に応じて指導部長による講話を実施する</p> <p>14 いじめ防止基本方針、いじめ相談メールをホームページに掲載して、いじめの早期発見・早期防止に努める。</p> <p>15 部活動所属率の向上のための広報活動</p> <p>16 学校全体で応援する体制を整える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、教員生徒の挨拶の徹底をはかる。 ・マナー教員研修を2講座実施。（保護者対応・ハラスメント）教員の意識の向上に役立つと期待している。 ・下記の通りの生活指導課主催事業を実施し、教員生徒ともに良い研修ができた。来年度も引き続き実施予定である。 <ul style="list-style-type: none"> ・性犯罪防止講話 ・薬物防止講話 ・交通安全講話 ・サイバー犯罪防止講話 ・マナー講座（1学年） ・教員研修 ・登下校の交通事故が大幅に減少した。今後も自転車通学者の交通指導を重点に指導していく。 ・文化祭・体育祭の参加保護者の大幅増加により、トヨタ博物館の駐車場をお借りし、無事に行事行うことができた。 ・部活動の加入率が80%をこえ、部活動全体が盛り上がり、多くの好成績を残した。野球部等の活躍により、応援体制も確立してきた。 ・今後の課題として、部活動の広報、応援を学校全体のものとして位置づけていきたい。
	<p>1 挨拶・服装・頭髪の栄徳生としての身だしなみを指導</p> <p>2 自転車通学者のマナー指導</p> <p>3 安心・安全な学校生活</p>	<p>1 年間を通しての校外、校内巡回指導しながら、心を育てて身だしなみを整える。</p> <p>2 指導カードを使用することにより、抑止力をはたらかせる。</p> <p>3 交通安全講話をとおして、年間自転車交通事故防止の意識を高める。</p> <p>4 サイバー犯罪防止講話や性犯罪防止講話など、スマートフ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて校内、校外の巡回指導が定期的に来た。 ・性犯罪・サイバー犯罪防止講話を通して、生徒への意識付けが出来た。 ・交通安全講話を通じて自転車も軽車両の意識を強く持たせることが出来た。 ・スマートフォンの使用に対して、いじめに繋がらないように、今後

<p>4 いじめのない安心な学校生活</p>	<p>オンなどによる犯罪の危機管理意識を高める。 5 いじめやからかいなどの事前防止に努める。</p>	<p>も指導していきたい。</p>
<p>1 行事における役割を考え、主体的に行動できる生徒の育成</p> <p>2 部活動における自己鍛錬、人間関係を通して豊かな人間性を育む</p> <p>3 行事、部活動で活発に活動する生徒の姿を通して、地域へ本校の存在を発信する</p>	<p>1 学習とともに、行事をクラス運営の主軸として位置づけてもらう。(行事全体)</p> <p>2 主体的に行事に参加させ、協力して1つのことを成し遂げることで、達成感を感じさせる。(行事全体)</p> <p>3 生徒会執行部に運営進行を任せ、生徒会執行部の役割を認識させる。(行事全体)</p> <p>4 福祉関係の出し物に参加して、生徒の福祉への意識を高める。(文化祭)</p> <p>5 中学生の招待や近隣住民への宣伝など地域に本校をアピールする。(文化祭)</p> <p>6 本校の体育祭を充実した行事にする。(体育祭)</p> <p>7 高い芸術を鑑賞することで芸術的感性を養う。(芸術鑑賞)</p> <p>8 様々な行事を通して、人間性の向上を図る。</p> <p>9 部活動への生徒の参加を奨励し、活発な活動を支援する。</p> <p>10 積極的に地域活に関わらせ、生徒の社会性を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事全体を通して、活気のあるものになってきている。生徒も各個人の役割を認識し、積極的に参加してくれている。しかし、改善点は数多く存在しているので、今年度の反省を生かして、来年度はさらに良い行事となるよう努力していきたい。 ・次年度は今年度以上に委員会活動の活性化を図り、生徒の主体的参加の機会を増やしていきたい。 ・全体的に活気のある活動が展開された。今後も挨拶など礼儀の指導に重点をおいて指導課と協力し活性化を図っていきたい。 ・ボランティア部などを中心に地域の活動に参加して良い成果を得ている。今後も継続した活動を行うとともに、より多くの部活動が地域協力に参加できるように促していきたい。
<p>学校保健 (保健部)</p> <p>1 校内美化</p> <p>2 学校安全の充実</p> <p>3 学校生活における生徒観察</p>	<p>1 日常、行事前の校内巡回</p> <p>2 定期考査最終日、重点清掃の実施</p> <p>3 事前指導による事故発生予防意識の啓発</p> <p>4 年2回のAEDを活用した救命講習、1年生対象(ハートセンター)、部代表生徒対象(救急救命士)どちらかの講習に教員も受講</p> <p>5 学校環境の安全点検</p> <p>6 学年会の担任レポート・月間3日以上欠席者を保健日誌に記入(欠席者ファイル作成)学年主任会に提出</p> <p>7 スクールカウンセラーとの連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・考査後、行事前後の清掃は、徹底できた。 ・部活担当区域の清掃を入念にさせたい。 ・行事ごとの予防啓発ポスターを発行し、生徒・教職員ともに安全意識が高められた。 ・学年会担任報告・月間3日以上欠席者を保健日誌に記入し継続的に情報把握に努めた。

	<p>1 校内環境整備</p> <p>2 健康管理</p>	<p>1 教室の美化が学習環境を整える基本であることを1年間発信し続ける。</p> <p>2 学年会で実施している朝学の校内巡回の際に汚れ具合や危険、破損箇所が放置されていないか確認。その結果は、その日のうちに清掃監督教員や関係分掌に報告する。</p> <p>3 健康観察や行事内容に伴う事故予防啓発資料を作成。安全かつ健康な行事運営に積極的に貢献する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10分清掃が定着しつつあるが、次年度は5分延長し、学習環境を整えていきたい。部活動担当区域の清掃を徹底したい。 ・体育的行事における岩塩や麦茶の支給により、当日の体調不良者が激減した。 ・体育的行事翌日以降の体調不良による保健室来室が目立つ年度であった。HR指導の充実が課題である。
	<p>1 教育相談</p>	<p>1 月間3日以上欠席者の学級担任と連携を密にとり続ける。</p> <p>2 担任との連携の際、欠席該当者の情報だけでなく、学級全体の雰囲気にも触れられるような会話を心がける。</p> <p>3 スクールカウンセラーと教職員との連絡・連携が密になる働きがけを継続していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自立にともなう精神的支援が必要な生徒が多いように感じた。 ・スクールカウンセラーの積極的な担任と学年主任連携により、教室復帰のケースがあった。次年度の不登校生徒受け入れの制度変更でも的確な対応ができるよう、スクールカウンセラーとの連携を図っていきたい。
<p>進路指導 (進路指導部)</p>	<p>1 進路指導カリキュラムの構築</p> <p>2 新課程入試に対する早期の対応</p>	<p>1 進路の手引きの改訂</p> <p>2 1年次夏期休業におけるインターンシップの実施をはじめとする、キャリア教育の充実</p> <p>3 進路の手引き（新課程対応済み）に基づいた進路指導</p> <p>4 ICTの活用による生徒活動記録の蓄積（情報センターとのタイアップ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の進路計画を具体的に示した。 ・次年度はさらに内容を充実させ参加人数の拡大を図りたい。 ・教員にも進路の手引きにより3年間の進路計画を具体的に提示している。 ・情報センターとも協力し、生徒情報を蓄積し受験指導に活かしたい。
	<p>1 補習の充実</p> <p>2 模試活用態勢の強化</p>	<p>1 理科、社会の補習の増強</p> <p>2 eラーニング、アダプティブラーニングの導入</p> <p>3 Classi（3年生はデジタルサービス）の活用による、模試の成績、志望校、学習到達度などの把握</p> <p>4 受験すべき模試の再検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習合宿に理社を取り入れることにより、受験学力の強化を図った。 ・タブレットの導入、授業での活用をさらに拡充したい。 ・本人の希望に応じ、毎日具体的な学習内容が配信されている。 ・ICT導入との関係で見直しを図った。
	<p>1 受験校指導から合格学力向上指導へ</p>	<p>1 模試単位の教科担任会議と個人面談の継続</p> <p>2 志望理由の明確化による第一</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・模試ごとに検討会を実施。教科担当も含めた全員でバックアップする体制を整えた。

	2 特進担当教員の指導力アップ	<p>志望合格へのモチベーションアップ</p> <p>3 入試研究会への参加と情報の共有</p> <p>4 問題研究態勢の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第一志望実現への具体的なイメージや行動へと結びつけたい。 ・研究会には積極的に参加している。入試時期に合わせて共有を強化し受験に反映させた。
ICT 環境整備及びデータ管理(情報センター部)	<p>1 校務システムの管理・運営</p> <p>2 教務サーバーの管理・運営</p> <p>3 校内無線LAN環境の構築</p> <p>4 学校セキュリティの構築</p> <p>5 募集データの管理及びWebページの更新</p>	<p>1 校務システムの機能が最大限活用できるようにする。</p> <p>2 教務サーバーの円滑な運営及びセキュリティの強化をする。</p> <p>3 全校生徒が Wi-Fi 環境を利用できることを目指す。また、教員の Wi-Fi 環境についてセキュリティを強化する。</p> <p>4 セキュリティポリシーの作成を検討する。</p> <p>5 生徒募集目標達成のためのデータの整理やWebページの管理を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校務システムの入力方法が今までと異なるため1学期は戸惑いが多かった。また、帳票も以前と異なる形式のため、扱いにくかった。帳票については次年度から変更する。さらに、最大限活用に近づけるべく次年度より時限別欠課入力、外部模試結果入力を実施する。 ・教務サーバーについては問題なく運用されている。 ・Wi-Fi環境については様々な協力を得て、納得できる形ができたと思う。 ・セキュリティに関して、生徒用は十分であると考えられる。Wi-FiのAPを同一モデルに変更し、管理サーバーによる管理が必要である。 ・入試広報との連携については依頼のあった件は協力している。次年度は発展的な部分で協力をしていく予定である。
生徒募集(入試広報部)	<p>1 入学者の目標数を設定し、目標達成できる生徒募集計画を作成。</p> <p>2 生徒・保護者への周知を図る幅広い広報活動の実施。</p> <p>3 生徒募集は全職員で行うという意識の高揚を図る。</p> <p>4 栄徳高校の良さをアピールする</p>	<p>1 過去の入学者数のデータを分析し、入学者の目標数を地域ごとに設定し、達成を目指す。</p> <p>2 見学会への参加者の増加が入学者の増加につながる。チラシやポスターを配布し、見学会等への積極的な参加を促していく。</p> <p>3 各教科、各部会への協力を依頼し、全職員参加の見学説明会を計画することにより、職員全員での広報活動であるという意識を高める。</p> <p>4 担当者と協力し、栄徳高校に興味関心が高まるようなホームページにしていこう。ホームページを常に確認し信頼を得られるように、データはリアルタイムで更新していくよう心掛ける。</p> <p>5 栄徳高校への興味関心が高ま</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとの入学者の目標数を設定し、目標達成に向けて広報活動を行ったが、人数の確保に苦労した。 ・瀬戸地区説明会での参加者が増えた。特に保護者の参加が多かった。 ・チラシ・ポスターの配布により、見学会への参加者が増加し、受験者数の増加につながった。 ・受験者数の増加が、入学者数の増加につながっていないため、つなげるための手立てについて追求していく必要がある。 ・推薦での受験者数が減少している。とくに名古屋地区での減少が大きい。推薦での受験者数確保を目指していきたい。 ・ホームページからの見学会申し込みが増えてきている。ホームページから情報収集する生徒が増加してきている証拠である。ホームページを常にチェックし、新しい情

	案内を作成	<p>るような学校案内を作成する。</p> <p>6 塾の広報誌や新聞広告などを活用し、栄徳高校を積極的にアピールしていく。</p>	<p>報を提供するように心がける必要がある。</p>
	<p>1 本校の生徒・保護者が最大の広報であることを忘れない。</p> <p>2 全校体制での見学会に向けて、具体的な計画案を作成する。</p>	<p>1 各種行事において、本校の生徒及び保護者が満足していただけるような対応を職員全体で考えていく。</p> <p>2 見学会において、講座実施の状況や部活動実施状況などを把握し、全校体制での見学会実施に向けて職員の役割分担を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の生徒を大切に、我が子を育てる心を持って接していく教師集団を目指していきたい。 職員全員のタイムテーブルを作成し、担当を明確にしていった。職員が行動するのに効果的であった。
<p>学年指導 (第1学年)</p>	<p>《学校生活の質を高める》</p> <p>1 爽やかな挨拶ができる</p> <p>2 継続して努力することの喜びを知る</p> <p>3 高校生として自立し、リーダー性を養う。</p> <p>4 安全で安心な学校生活を送る</p>	<p>1 野外合宿を通じて栄徳としての心構えを育成する。</p> <p>2 朝学を計画的に実施し、落ち着いた学習環境を整え、基礎学力を習得する。</p> <p>3 授業規律を重視し、自学自習による学習習慣を確立する。</p> <p>4 学校行事や課外活動をもとに、経験値を積み上げ、多くのリーダーを育成する。</p> <p>5 学年団に加え、生活指導部や保健部(カウンセラーを含む)との連携体制を整え、問題の大小に関わらず、その早期解決に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 野外合宿は最初の行事として有意義であった。また、教員の団結を見ることもできた。 朝学では、新年度に向け、新たな方法を検討したい。朝学は、特に英語単語コンテストに向け、4月よりスタートしたい。 サブリ・クラッシーの利用に関しては、先生方の協力のもと、活用できた。来年度は、GTZに結びつく指導を心がけたい。 リーダーの育成については、成長の跡が見られた。来年度は、修学旅行を念頭に置き、会議の計画性と方向性を長期的に見据え、さらなる育成を目指したい。 生徒が主体性を持って学校生活を送る姿勢を養わせたい。
<p>学年指導 (第2学年)</p>	<p>《学校全体の中心的役割を担う》</p> <p>1 挨拶がしっかりできる</p> <p>2 継続して努力することができる</p> <p>3 高校生として自立する</p>	<p>1 進路実現のための基礎固め</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一志望を持つ 授業を大切にする 家庭学習習慣の確立 <p>2 キャプテン・リーダーの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 修学旅行を見据えて <p>3 自主的な朝学への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> キャプテンを中心に自主的な取り組みができるようにする。 <p>4 HRの計画的な活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進路行事を通して少しずつ進路意識が育っている。進路目標と学習を結びつけることが課題。Classiの利用については教員によって差がある。さらに活用させたい。 修学旅行を初めとし、行事が大きく生徒たちを成長させた。キャプテンを中心に何か一つでも自主的な取り組みができるようにしたい。 朝学については受験に結びつけていけるように内容、やり方を見直す。 概ね年間計画に沿って活用できて

			いる。
学年指導 (第3学年)	<p>《有終の学年を》 学校生活,行事, 進路において全 うする心構えを 持たせる。</p> <p>1 進路指導</p> <p>2 評価</p> <p>3 最終学年として の自覚ある学校 生活を目指す。</p> <p>4 適切丁寧な進路 相談</p>	<p>1 学年集会、キャプテン会議の 随時実施。</p> <p>2 家庭学習の定着、進路意識向 上の啓発。 ・朝学の有効実施。 ・夢手帳の有効活用。</p> <p>3 模試の評価。 ・進路指導部、教科担当の意 思統一。</p> <p>4 ST、HRを大切にし、生徒 の変化動向を把握する。 ・栄徳五訓 ・挨拶</p> <p>5 目標を高く持たせ、取り組み 状況を確認。 ・随時個人面談を行う。 ・小論文指導の実施。 ・朝学の徹底。</p>	<p>・集会、会議については年間を通じ 場面に応じてタイミングよく実施 することができた。</p> <p>・進路指導においては、生徒の希望、 実力に応じた適切な指導を行うこ とができた。様々なサポート体制 を組織的に行う必要性を課題とし ていきたい。</p> <p>・毎日の朝学の習慣で落ち着いた雰 囲気で1日をスタートすることが でき、今後も継続していきたい。</p> <p>・生徒を取り巻く人間関係等には迅 速的確な指導が行われ、落ち着いた 学校生活を維持することができ た。</p> <p>・志望校の設定には、それ以降の努 力を引き出すことを含めた指導に 心がけた。各担任による適切な面 談が行われ、小論文指導では、国 語科の協力を得て丁寧な指導を行 うことができた。</p>